

令和2年度 北部保健所運営協議会資料

日時：令和2年9月25日（金）13:00～14:00

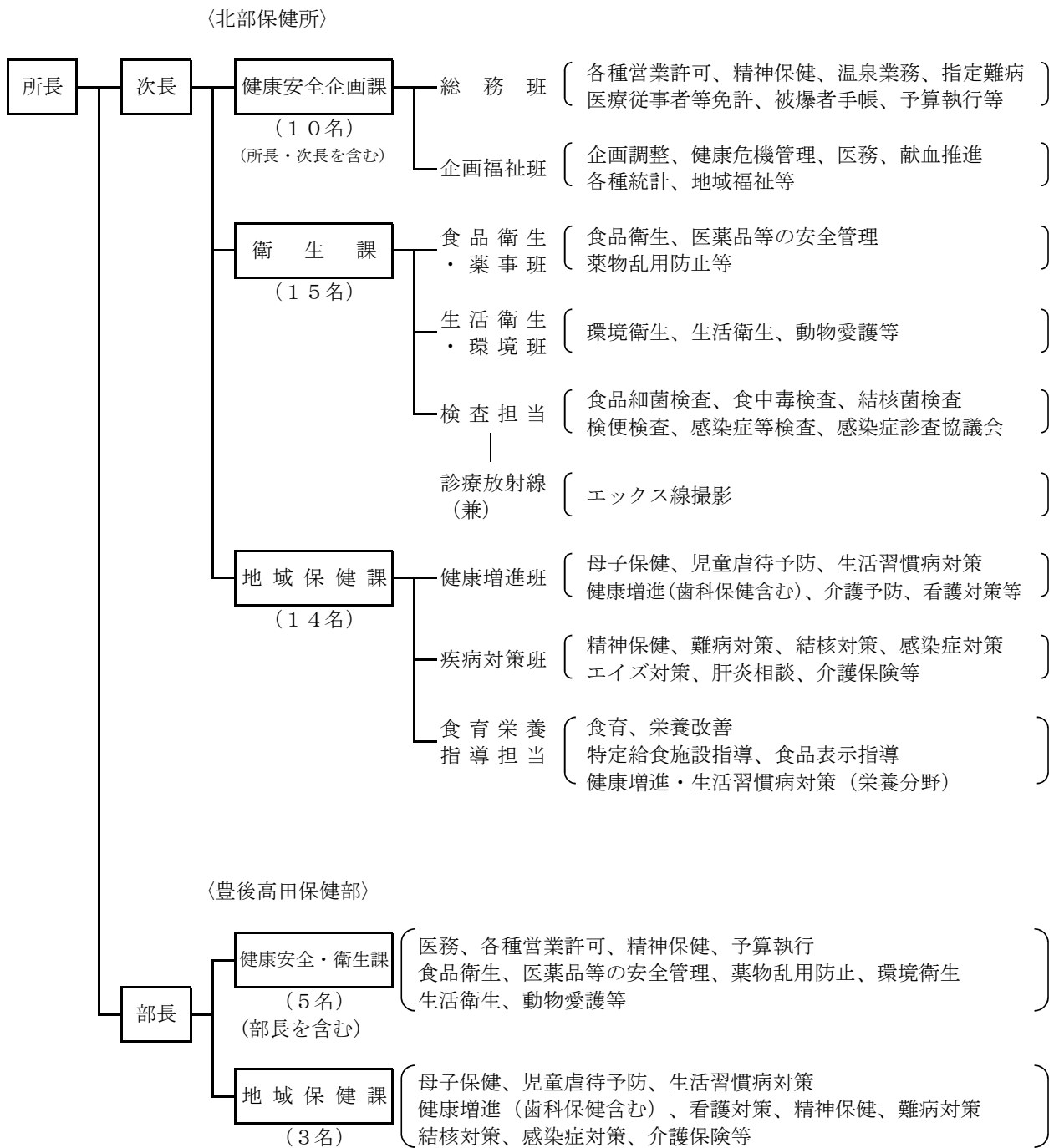
会場：大分県中津総合庁舎3階大会議室

目次

1	組織の概要	
	(1) 組織及び職員数	1
	(2) 職種別職員配置状況	2
2	管内の特徴	
	わたしのまちの健康プロフィール（北部圏域）	3
3	管内の抱えている課題	
	県民健康意識行動調査（市別地域特性）	7

1 組織の概要

(1) 組織及び職員数



(2) 職種別職員配置状況

(単位：人)

令和2年5月1日現在

	北部保健所					豊後高田保健部			
	現員	所長	健康安全 企画課	衛生課	地域 保健課	現員	部長	健康安全 ・衛生課	地域 保健課
一般事務	8		8			2		2	
医師	1	1							
化学	2			2					
薬剤師	7			7		(2) 2	1	(2) 1	
獣医師	3			3		1		1	
臨床検査技師	2			2		(2)		(2)	
診療放射線技師	(3)			(3)		(3)		(3)	
管理栄養士	2				2	(2)			(2)
保健師	13		1		12	3			3
事務補佐									
技師									
動物管理技術員	1			1		(1)		(1)	
計	(3) 39	1	9	(3) 15	14	(10) 8	1	(8) 4	(2) 3

注意：（ ）は兼務職員（外数）

わたしのまちの健康プロフィール(北部圏域)

【北部保健所作成(令和2年4月)】

1 管内の概要

中津市
面積 491.44km²
人口 82,875人
(男40,170人 女42,705人)
世帯数 37,297
高齢化率 29.7%

宇佐市
面積 439.05km²
人口 53,834人
(男25,346人 女28,488人)
世帯数 22,722
高齢化率 36.4%

◆北部保健所
中津市中央町1-10-42
電話 0979-22-2210
FAX 0979-22-2211
e-mail a12089@pref.oita.lg.jp

◆北部保健所豊後高田保健部
豊後高田市是永町39
電話 0978-22-3165
FAX 0978-22-2684
e-mail a12091@pref.oita.lg.jp

豊後高田市
面積 206.24km²
人口 22,093人
(男10,475人 女11,618人)
世帯数 9,808
高齢化率 38.9%

資料:大分県統計調査課「大分県の人口推計」(令和元年10月1日現在)
国土地理院「令和元年全国都道府県市区町村別面積調」

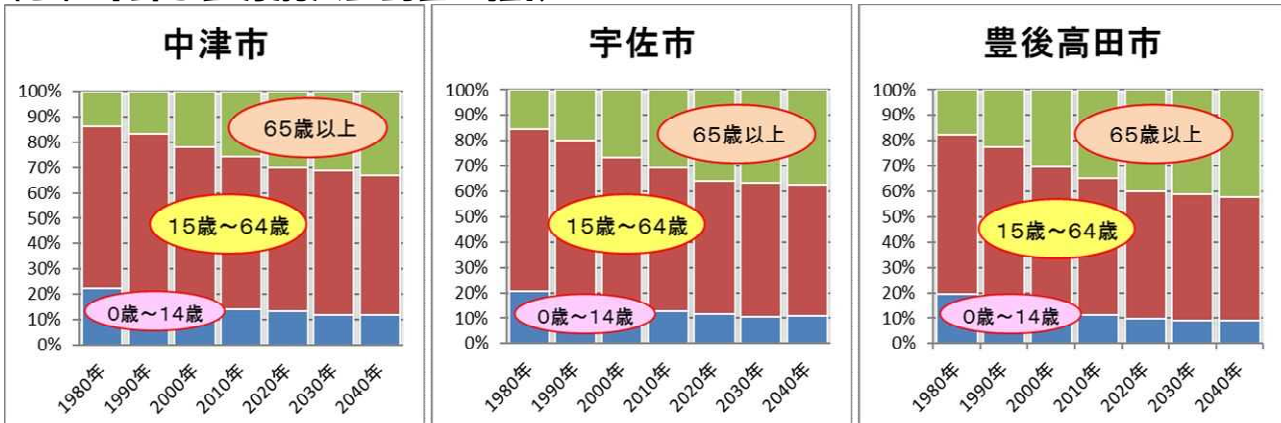
2 人口

(1) 人口の推移

(2020年以降は推計値)



(2) 年齢3区分別人口割合の推移



資料:昭和55年～平成22年 総務省統計局「国勢調査」
2020年～2040年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

人口は、年々減少し、今後も減少が続くと予想されています。
年齢3区分別人口割合の推移をみると、老年人口(65歳以上の人口)は増加する一方、年少人口(0～14歳の人口)は減少しており、今後も少子高齢化が進んでいくことが予測されます。
また、15歳～64歳の社会を支える世代の人口である生産年齢人口も徐々に減少しています。



3 人口動態

(1) 出生数・死亡数（平成30年）

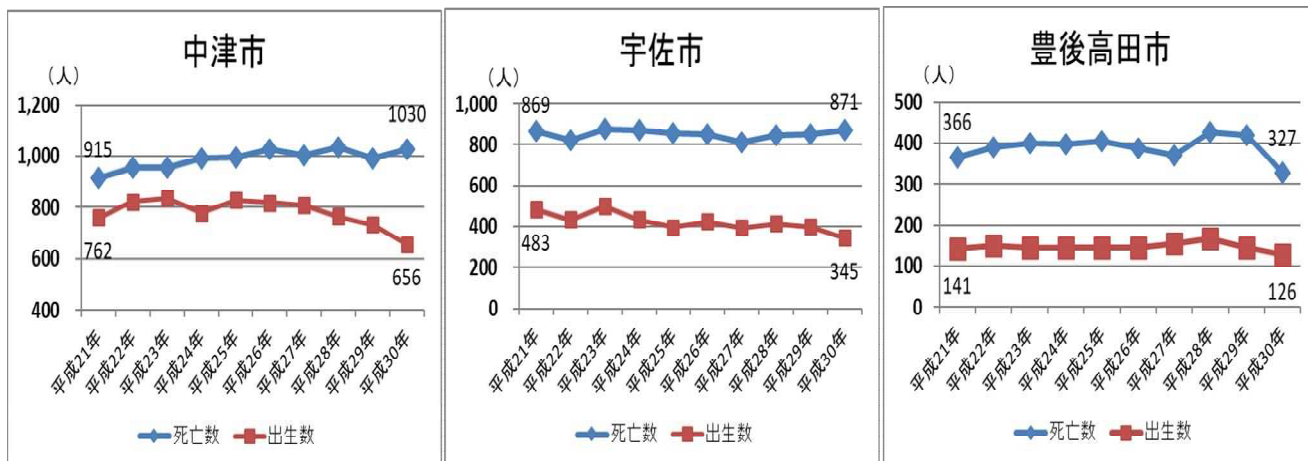
平成30年

平成30年	出生				死亡	
	出生数 (実数)	出生率 (人口千対)	出生数 2,500g未満 (再掲)	合計特殊 出生率	死亡数 (実数)	死亡率 (人口千対)
大分県	8,200	7.2	787	1.58	14,492	12.8
中津市	656	8.0	66	1.87	1,030	12.5
宇佐市	345	6.4	31	1.70	871	16.1
豊後高田市	126	5.7	10	1.62	327	14.9

資料: 厚生労働省「人口動態統計」

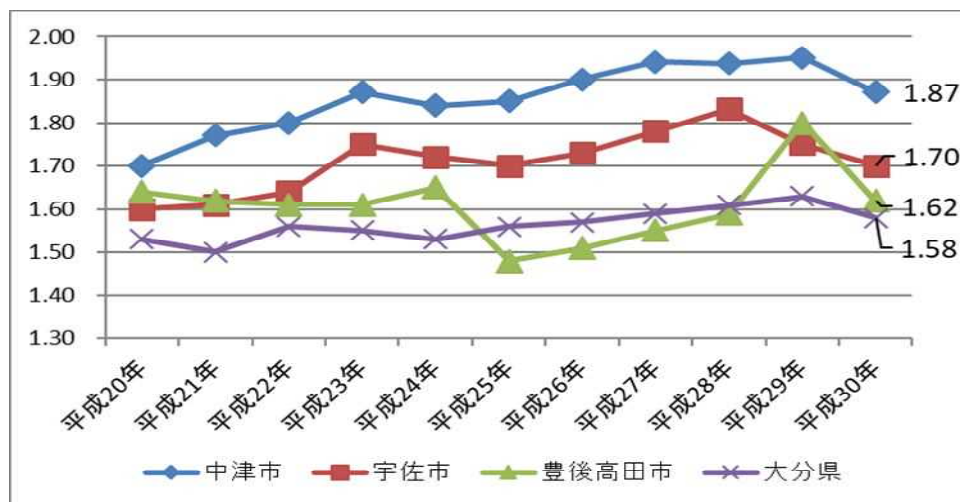
市の合計特殊出生率は大分県福祉保健企画課調べ(H26年～30年の平均)

(2) 出生数と死亡数の推移



中津市の人口千人あたりの死亡率は県平均と同程度ですが、出生率は県平均より高くなっています。宇佐市、豊後高田市は、県平均に比べて人口千人あたりの死亡率が高く、出生率は低くなっています。出生数と死亡数の年次推移を見ると、各市とも死亡数が出生数を上回っており、人口の自然減の状況が続いています。

(3) 合計特殊出生率の推移



合計特殊出生率は、1人の女性が一生の間に生む子どもの数をあらわす指標で、人口を維持するためには、2.07以上が必要です。最新の合計特殊出生率は、中津市1.87、宇佐市1.70、豊後高田市1.62であり、人口を維持する値には、至っていないのが現状です。



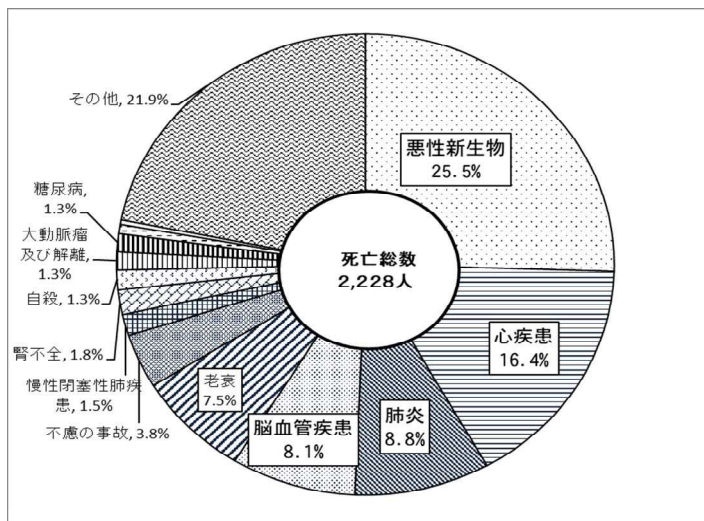
(4) 主要死因別死亡数・死亡率（人口10万対）

平成30年

死因名	全国	大分県	管内		中津市		宇佐市		豊後高田市	
	率	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
死亡総数	1096.8	1280.2	2,228	1407.3	1,030	1252.2	871	1609.7	327	1489.3
悪性新生物	300.7	323.6	568	358.8	277	336.8	223	412.1	68	309.7
心疾患	167.6	194.7	365	230.5	173	210.3	134	247.6	58	264.2
肺炎	76.2	92.8	196	123.8	72	87.5	83	153.4	41	186.7
脳血管疾患	87.1	103.9	181	114.3	85	103.3	68	125.7	28	127.5
老衰	88.2	100.1	166	104.9	99	120.4	51	94.3	16	72.9
不慮の事故	33.2	45.1	84	53.1	40	48.6	32	59.1	12	54.7
慢性閉塞性肺疾患	15.0	21.1	33	20.8	16	19.5	11	20.3	6	27.3
腎不全	21.0	27.0	39	24.6	15	18.2	12	22.2	12	54.7
自殺	16.1	18.0	30	18.9	18	21.9	10	18.5	2	9.1
大動脈瘤及び解離	15.1	15.9	29	18.3	9	10.9	17	31.4	3	13.7
糖尿病	11.4	13.9	28	17.7	13	15.8	12	22.2	3	13.7
肝疾患	13.9	13.3	14	8.8	5	6.1	6	11.1	3	13.7
高血圧性疾患	7.7	7.7	7	4.4	6	7.3	1	1.8	0	0.0
その他	243.5	303.1	488	308.2	202	245.6	211	390.0	75	341.6

資料：厚生労働省「人口動態統計」

(5) 管内の主要死因別死亡割合（平成30年）

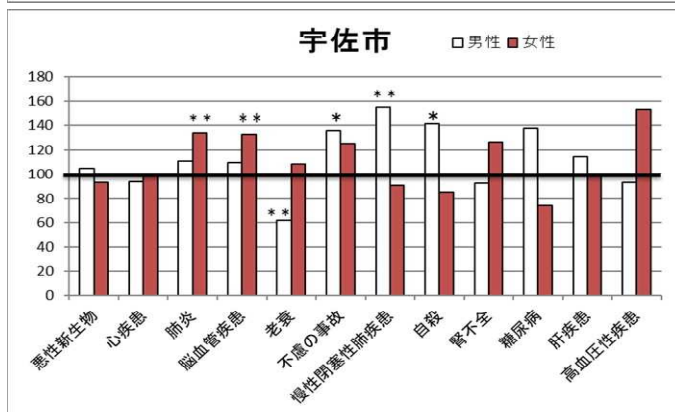
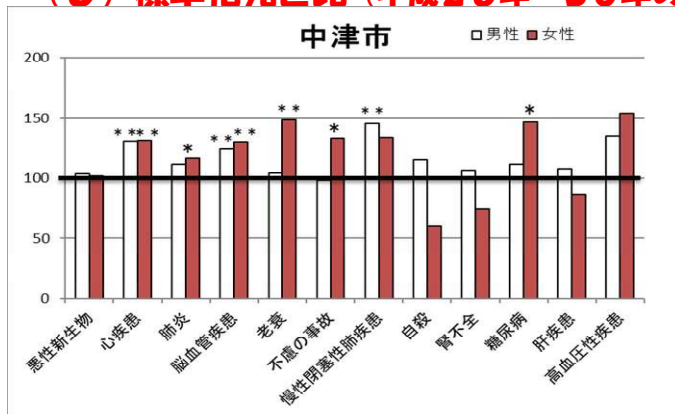


管内の死因別死亡割合は、悪性新生物、心疾患、肺炎が高く、この3疾患で50%以上を占めています。続いて、脳血管疾患、老衰の順となっています。

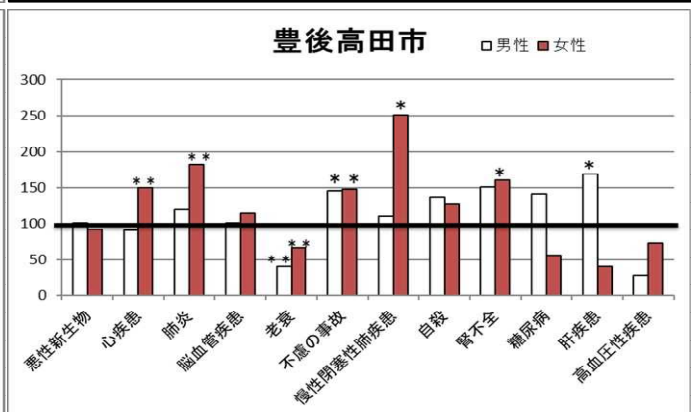
死亡の状況は、人口規模や年齢構成に影響されるので、地域毎の比較をする場合は、年齢構成の差を取り除いた「標準化死亡比(SMR)」を用います。標準化死亡比(SMR)は、全国を100として、100より大きいときは、その地域の死亡状況が全国より悪く、死亡率が高いということになります。

管内の各市の標準化死亡比(SMR)は表をご覧ください。

(6) 標準化死亡比（平成26年～30年の平均）



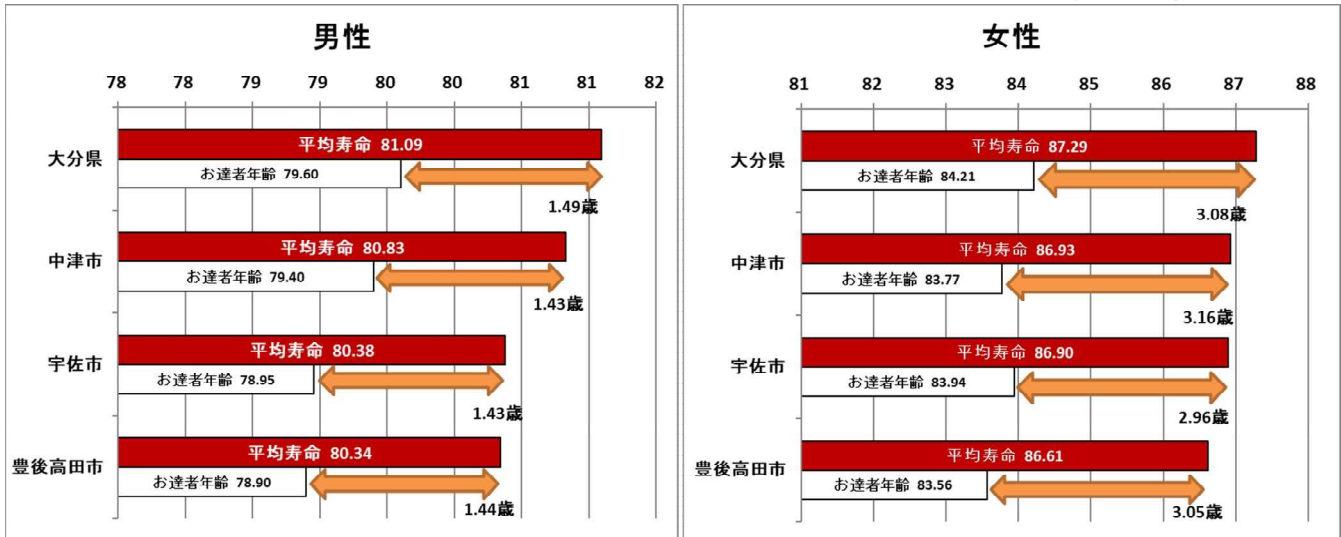
- * 5%の危険率で有意に期待死亡率と差がある
- ** 1%の危険率で有意に期待死亡率と差がある



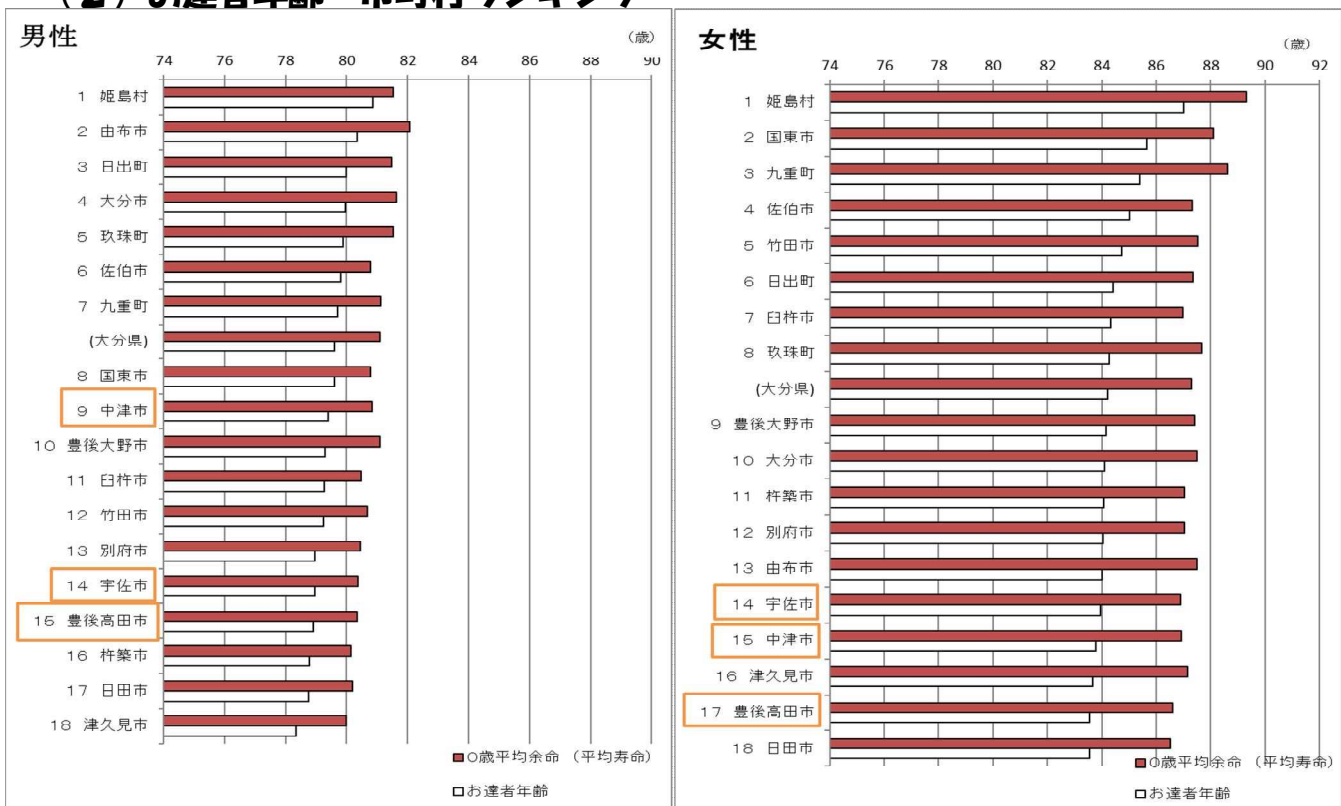
資料：厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を利用して大分県健康指標計算システムで集計（値はH26年～230の平均）

4 平均寿命とお達者年齢（平成26年～30年の平均）

(1) 管内各市の平均寿命とお達者年齢 平均寿命とお達者年齢の差 ※男女の年齢の違いに注意！



(2) お達者年齢 市町村ランキング



資料：厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計(値はH26年～30年の平均)

「平均寿命」は、0歳の子どもが何年生きられるか(0歳児の平均余命)をあらわします。都道府県及び市町村の平均寿命は5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に、県の値と市町村の値を毎年算出し、公表しています。

「健康寿命」は、健康で過ごせる期間を示したものです。国では、国民生活基礎調査の結果を基に、「日常生活に制限のない期間」を健康寿命として3年に1回公表していますが、大分県では、これとは別に介護保険の「要介護2以上の認定を受けていない方」を健康と定義し、これに基づいた「お達者年齢」を毎年算出し、公表しています。

「平均寿命とお達者年齢の差」は、日常生活動作が自立していない期間を意味します。

管内各市では、お達者年齢、平均寿命ともに女性の方が男性よりも長くなっています。また、平均寿命とお達者年齢の差は男性で1.4～1.5歳前後、女性で3歳前後です。

高齢になっても元気で過ごすためには、若い頃からの健康づくりや生活習慣病予防、高齢者の介護予防などが大切です。お達者年齢も平均寿命も延ばして、元気で長寿な地域を目指しましょう！

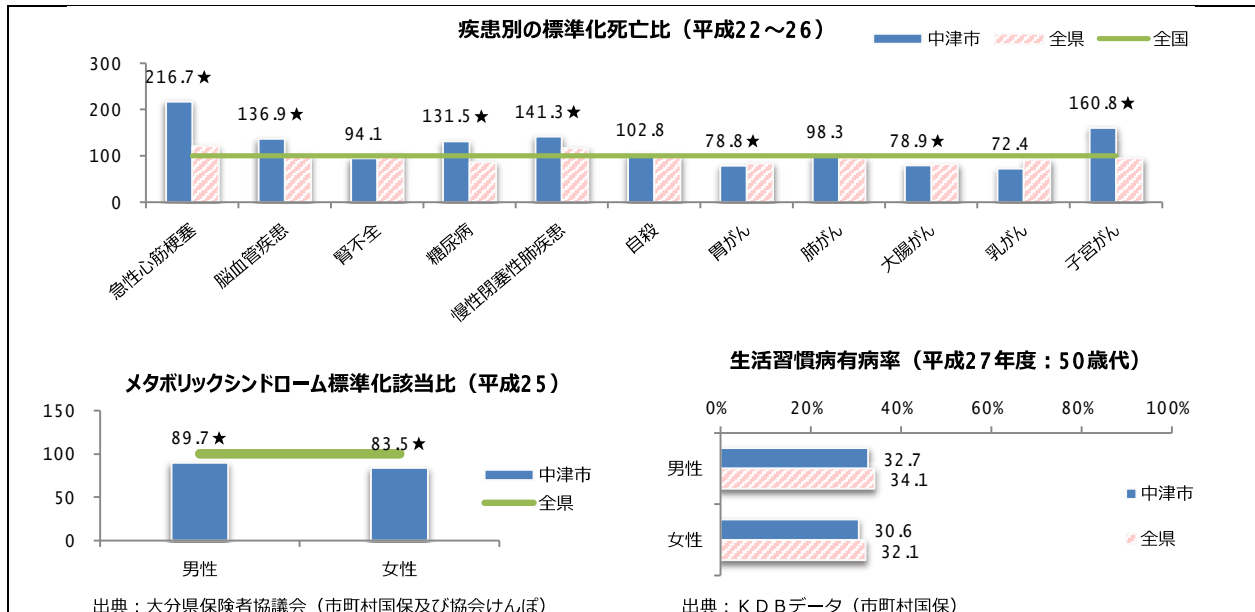


中津市	総人口：83,965人	男性：40,351人	女性：43,614人	高齢化率：28.4%
	出生数：809人/年	出生率（人口千対）：9.7		
	死亡数：1,003人/年	死亡率（人口千対）：12.0		

※平成27年国勢調査及び平成27年人口動態統計

(1) 健康関連データより

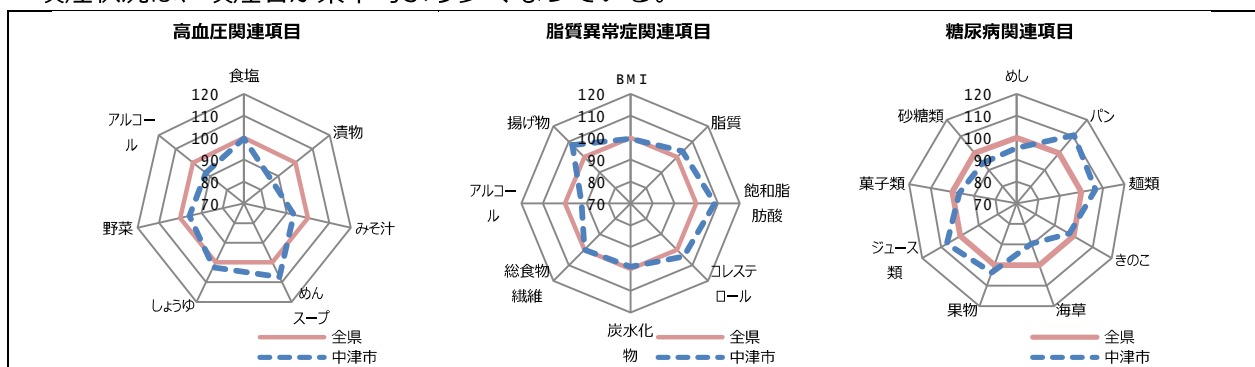
- ・中津市の標準化死亡比は、急性心筋梗塞、脳血管疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患、子宮がんで全国より高く、胃がん、大腸がんで低くなっている。
- ・メタボリックシンドローム標準化該当比は、男女とも県平均より低くなっている。

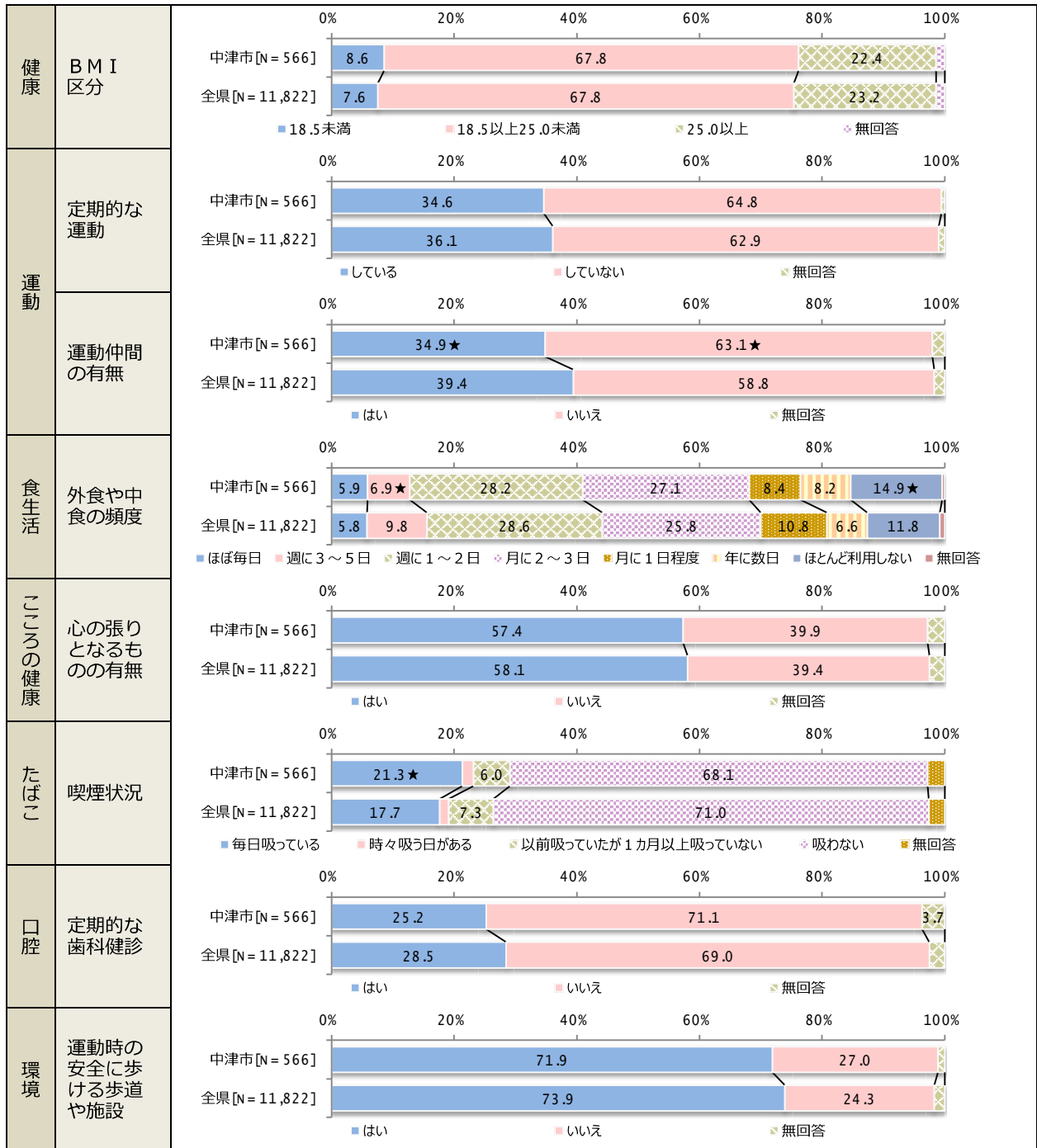


出典：大分県保険者協議会（市町村国保及び協会けんぽ）
出典：KDBデータ（市町村国保）
標準化死亡比：全国を100（基準）として標準化された死亡率のこと。100より大きければ全国より死亡率が高く、100より小さければ死亡率が低いことを示す。
標準化該当比：全県を100（基準）として標準化された、特定健診でのメタボリックシンドローム該当者の割合。100より大きければ県平均より割合が高く、100より小さければ低いことを示す。
有意差（有意水準5%未満）のあるものには、数値の横に「★」印を表示している。（標準化死亡比は対全国、その他は対全県）

(2) 生活習慣実態調査及び栄養摂取状況調査結果より

- ・栄養調査の結果によれば、高血圧関連項目については、めんすूपの摂取量が県平均より多くなっている。脂質異常症関連項目では、揚げ物等の摂取量が県平均より多くなっている。糖尿病関連項目では、パン、麺類、ジュース類などの摂取量が県平均より多くなっている。
- ・生活習慣調査の結果によれば、肥満者や運動等は県平均とほぼ同じとなっているが、外食や中食を利用する人は県平均より少なくなっている。運動仲間がいる人は県平均より少なくなっている。喫煙状況は、喫煙者が県平均より多くなっている。





※県平均を母比率として有意差（有意水準5%未満）のあるものには、数値の横に「★」印を表示している。

(3) 調査等から見える姿

- ・急性心筋梗塞、脳血管疾患、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患、子宮がんの死亡率が全国より高くなっている。
- ・メタボリックシンドローム該当者は県平均より少ない状況となっている。
- ・食生活に関しては、県平均と比べて、脂っこいものや、パン、麺類、ジュース類などを好む人が多くなっている。
- ・生活習慣では、肥満者や運動習慣のある人は県平均とほぼ同じとなっているが、運動仲間が少ない状況である。
- ・喫煙者の割合は県平均より高く、慢性閉塞性肺疾患の死亡率も全国より高い状況である。

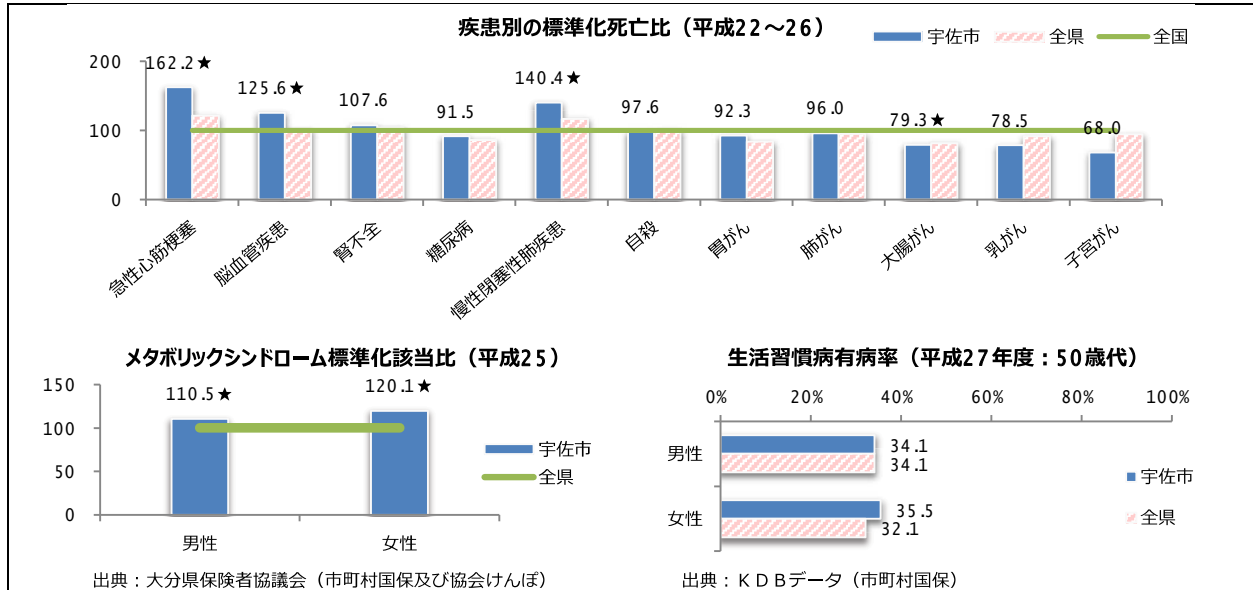
宇佐市

総人口：56,258人 男性：26,281人 女性：29,977人 高齢化率：34.0%
 出生数：395人/年 出生率（人口千対）：7.1
 死亡数：813人/年 死亡率（人口千対）：14.5

※平成27年国勢調査及び平成27年人口動態統計

(1) 健康関連データより

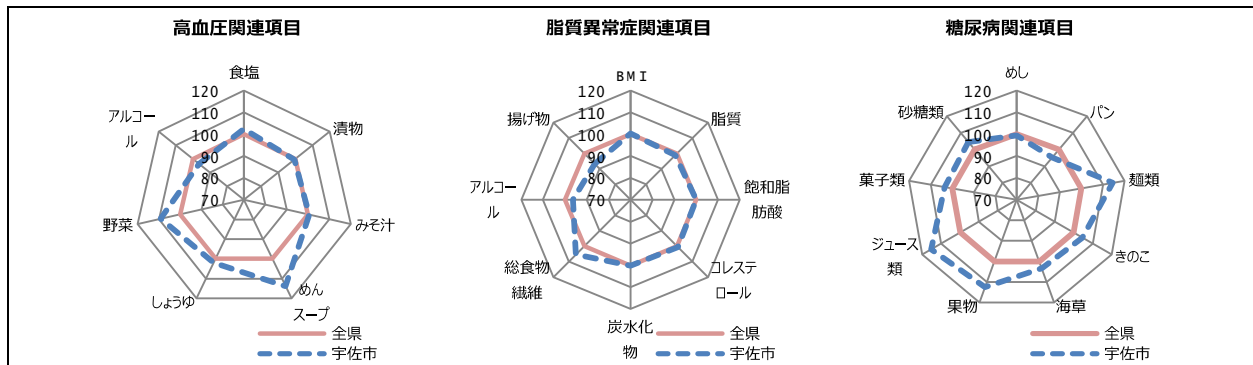
- ・宇佐市の標準化死亡比は、急性心筋梗塞、脳血管疾患、慢性閉塞性肺疾患で全国より高く、大腸がんで低くなっている。
- ・メタボリックシンドローム標準化該当比は、女性で県平均よりも高くなっている。

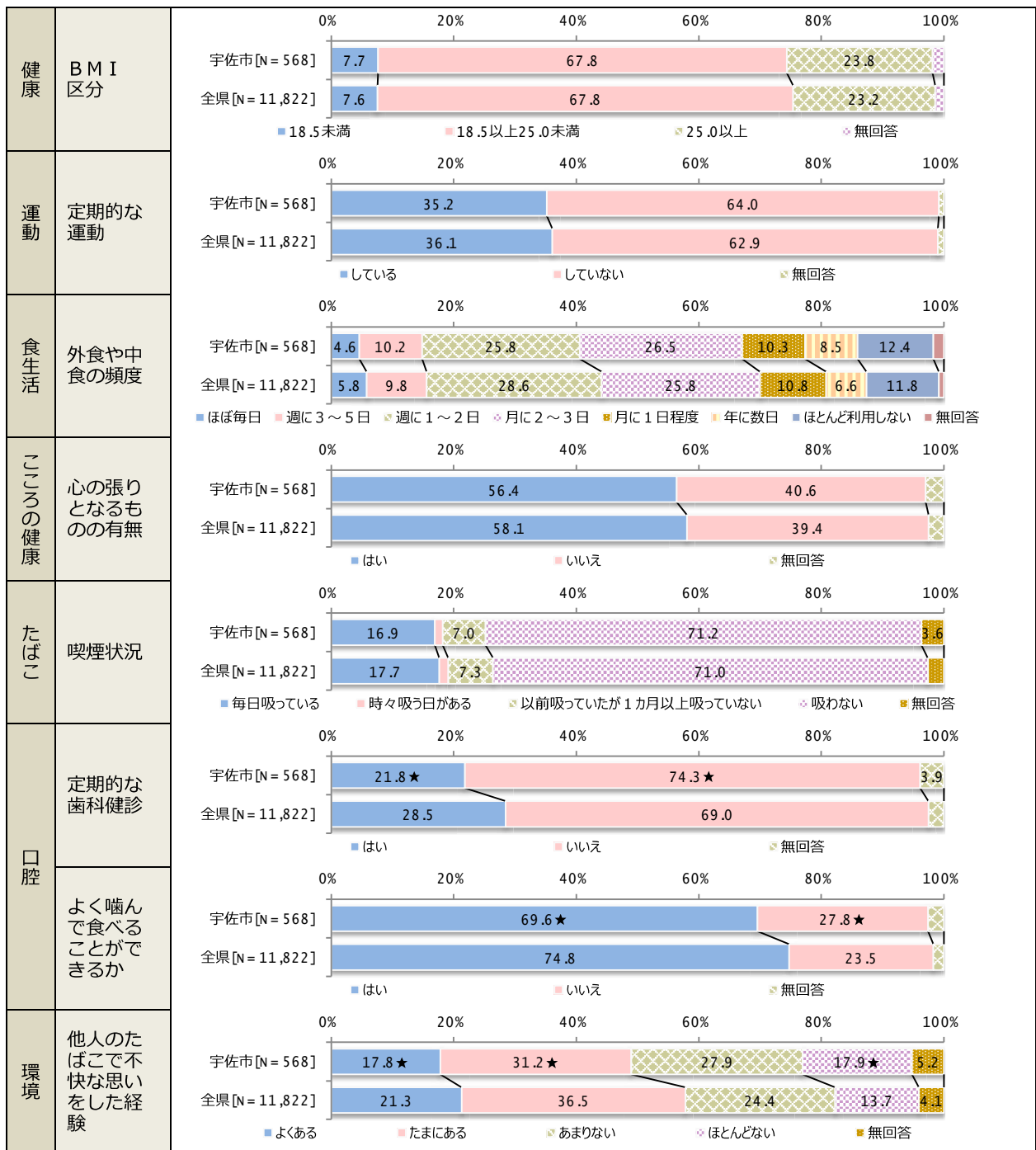


標準化死亡比：全国を100（基準）として標準化された死亡率のこと。100より大きければ全国より死亡率が高く、100より小さければ死亡率が低いことを示す。
 標準化該当比：全県を100（基準）として標準化された、特定健診でのメタボリックシンドローム該当者の割合。100より大きければ県平均より割合が高く、100より小さければ低いことを示す。
 有意差（有意水準5%未満）のあるものには、数値の横に「★」印を表示している。（標準化死亡比は対全国、その他は対全県）

(2) 生活習慣実態調査及び栄養摂取状況調査結果より

- ・栄養調査の結果によれば、高血圧関連項目については、めんすूपの摂取量が県平均より多くなっている一方、野菜も多く摂取されている。糖尿病関連項目では、麺類、果物、ジュース類等の摂取量が県平均より多くなっている。
- ・生活習慣調査の結果によれば、各項目とも県平均とほぼ同じものが多くなっている。定期的な歯科健診を受けいている人は少なくなっている。他人のたばこで不快な思いをした人も少なくなっている。





※県平均を母比率として有意差（有意水準5%未満）のあるものには、数値の横に「★」印を表示している。

(3) 調査等から見える姿

- ・急性心筋梗塞、脳血管疾患、慢性閉塞性肺疾患の死亡率が全国よりも高くなっている。
- ・県平均と比べて、メタボリックシンドローム該当者は多い状況となっている。
- ・食生活に関しては、県平均と比べて、ジュース類や菓子類、砂糖類の摂取量が多くなっており、炭水化物では麺類を好む人が多くなっている。
- ・生活習慣では、運動習慣のある人、肥満者等は県平均とほぼ同じであるが、運動仲間のいない人が県平均よりも多くなっている。
- ・歯科検診を定期的に受ける人が少なく、よく噛んで食べることができない人が県平均よりも多い状況である。

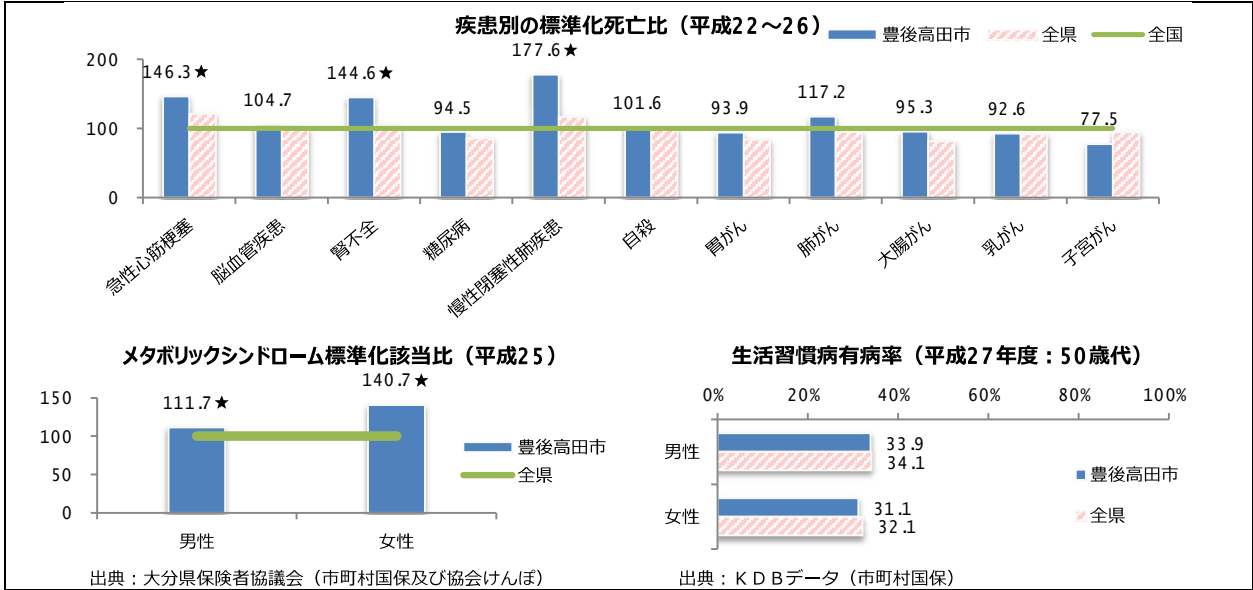
豊後高田市

総人口：22,853人 男性：10,755人 女性：12,098人 高齢化率：37.5%
 出生数：153人/年 出生率（人口千対）：6.8
 死亡数：369人/年 死亡率（人口千対）：16.4

※平成27年国勢調査及び平成27年人口動態統計

(1) 健康関連データより

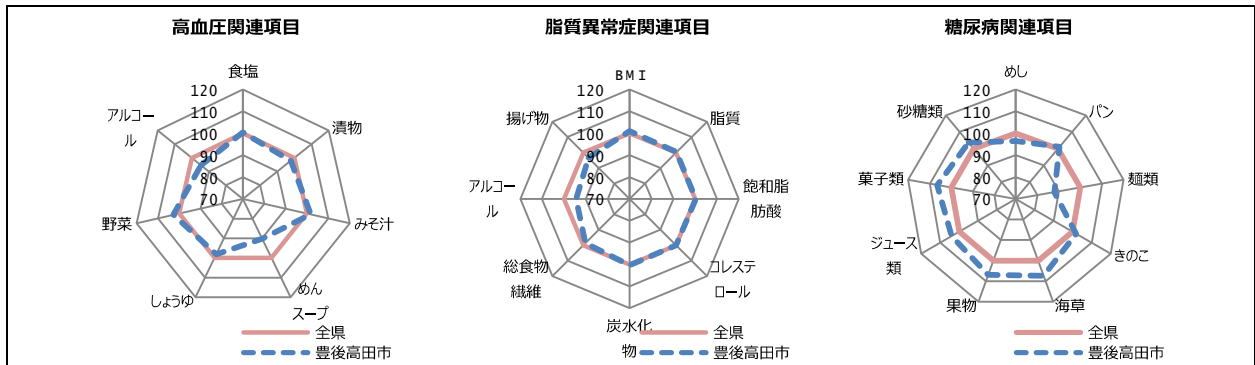
- ・豊後高田市の標準化死亡比は、急性心筋梗塞、腎不全、慢性閉塞性肺疾患で全国より高くなっている。
- ・メタボリックシンドローム標準化該当比は県平均よりも高くなっている。

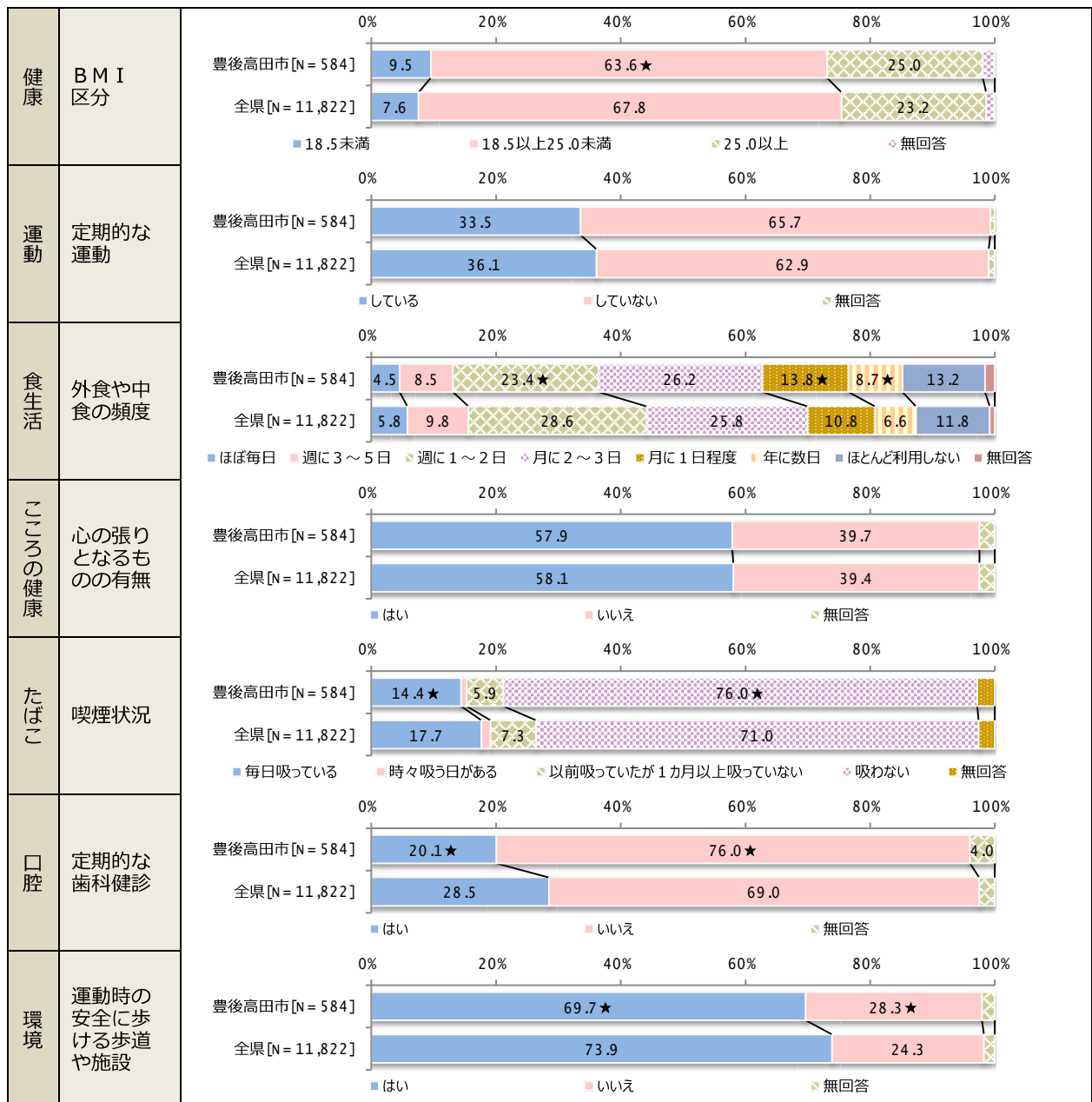


標準化死亡比：全国を100（基準）として標準化された死亡率のこと。100より大きければ全国より死亡率が高く、100より小さければ死亡率が低いことを示す。
 標準化該当比：全県を100（基準）として標準化された、特定健診でのメタボリックシンドローム該当者の割合。100より大きければ県平均より割合が高く、100より小さければ低いことを示す。
 有意差（有意水準5%未満）のあるものには、数値の横に「★」印を表示している。（標準化死亡比は対全国、その他は対全県）

(2) 生活習慣実態調査及び栄養摂取状況調査結果より

- ・栄養調査の結果によれば、糖尿病関連項目で、果物、ジュース類、菓子類などの摂取量が県平均より多くなっている一方、海草も多く摂取されている。
- ・生活習慣調査の結果によれば、肥満者は県平均よりやや多くなっている。運動習慣のある人、外食や中食を利用する人は県平均より少なくなっている。喫煙については、県平均よりも喫煙者は少なくなっている。





※県平均を母比率として有意差（有意水準5%未満）のあるものには、数値の横に「★」印を表示している。

(3) 調査等から見える姿

- ・急性心筋梗塞、腎不全、慢性閉塞性肺疾患の死亡率が全国よりも高くなっている。
- ・県平均と比べて、メタボリックシンドローム該当者は多い状況となっている。
- ・食生活に関しては、県平均と比べて、菓子、果物、ジュース類など甘いものを好む人が多く、特に男性ではアルコールの摂取量が多くなっている。
- ・生活習慣では、運動習慣のある人が県平均と比べて少なく、肥満者の多い傾向が見られる。また、安全に歩ける歩道や施設がないと感じる人や運動仲間のいない人が県平均より多くなっている。
- ・喫煙者の割合は県平均より少なくなっている。